

問1 奈良時代の九州地方に派遣され、防衛の任務についた兵士を何という？

1. 防人 2. 衛士 3. 健児 4. 兵士

問2 元明天皇が藤原京から都を移し、奈良時代が始まった年号は何という？

1. 645年 2. 794年 3. 710年 4. 1185年

問3 奈良時代末期に編纂された、現存する日本最古の歌集を何という？

1. 新古今和歌集 2. 古今和歌集 3. 懷風藻 4. 万葉集

問4 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？

1. 藤原京 2. 平城京 3. 長岡京 4. 平安京

問5 奈良時代に、中国の制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？

1. 遣新羅使 2. 遣隋使 3. 遣唐使 4. 遣明使

問6 遣唐使の船が日本から中国へ向かう際、多くの遭難者を出した荒れる海域を何という？

1. 東シナ海 2. 日本海 3. 太平洋 4. 瀬戸内海

問7 シルクロードを経て伝わった宝物や唐の工芸品が収められ、現在も東大寺にある施設は何という？

1. 東大寺 2. 正倉院 3. 興福寺 4. 大安寺

問8 743年に発令され、新しく開墾した土地の永代私有を認めることで、土地の私有化を推進した法律を何という？

1. 三世一身法 2. 大宝律令 3. 大化の改新 4. 墾田永年私財法

問9 奈良時代、租庸調の税を納める際に、荷物の内容や送り主などを記すために使われた木製の札は何という？

1. 戸籍 2. 正税帳 3. 木簡 4. 計帳

問10 律令制度において、神祇官と共に二官の一つとして行政の統括を担った機関を何という？

1. 太政官 2. 検非違使 3. 弾正台 4. 神祇官

問11 奈良時代、仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化を栄えさせた天皇は誰？

1. 光仁天皇 2. 称徳天皇 3. 元明天皇 4. 聖武天皇

問12 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？

1. 惣領 2. 郡司 3. 国司 4. 里長

問13 奈良時代の正倉院に収められている工芸品のもとになった、ユーラシア大陸を横断する交易路を何という？

1. 塩の道 2. 海上の道 3. シルクロード 4. 茶の道

問14 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？

1. 平城京 2. 藤原京 3. 長岡京 4. 平安京

問15 奈良時代、仏教の力によって国を災いから守ろうとする思想を何という？

1. 仏国土思想 2. 鎮護国家 3. 神国思想 4. 王権神授説

問16 令制国に派遣され、徴税や裁判といった地方の行政を担った官吏を何という？

1. 郡司 2. 里長 3. 防人 4. 国司

答え合わせ・解説

問1	答え 1 防人	防人は、大和朝廷が九州地方の防衛のために配置した兵士です。主に東国（現在の関東地方）の農民から徴兵され、長期間の任期で現地に派遣されました。万葉集には、故郷を離れる寂しさや任務の過酷さを歌った防人の歌が多く収められており、当時の人々の苦しい生活の様子を今に伝えています。
問2	答え 3 710年	710年、元明天皇は藤原京から平城京へ都を移しました。平城京は、大陸の都にならった碁盤の目状の区画（条坊制）を持ち、宮殿を中心に政治機能が集約された都市です。これにより、天皇を中心とした国家の威信を内外に示すとともに、官僚機構による効率的な統治が可能となりました。
問3	答え 4 万葉集	万葉集は、奈良時代末期に大伴家持らによってまとめられたと言われる、日本最古の和歌集です。約4500首もの歌が収められており、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった庶民の歌も含まれているのが大きな特徴です。当時の人々の生活感情や社会の様子を知るための貴重な歴史資料となっています。
問4	答え 2 平城京	710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並ぶ、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。
問5	答え 3 遣唐使	遣唐使は、7世紀から9世紀にかけて、日本が唐へ派遣した公式の使節団です。留学生や学問僧らが同行し、唐の政治制度、仏教、建築、美術、音楽など、多岐にわたる先進的な知識を日本に持ち帰りました。これらは当時の日本社会を急速に発展させる原動力となりました。
問6	答え 1 東シナ海	東シナ海は波が荒く、また気象観測技術も未熟だったため、渡航は命がけの作業でした。特に大陸へ向かう際は、季節風や海流の影響を大きく受け、多くの留学生や僧侶が海に没しました。無事に到着できたのは一部の船のみということも珍しくありませんでした。
問7	答え 2 正倉院	聖武天皇が亡くなった際、光明皇后が天皇をしのいで東大寺に奉納した品々を収めた校倉造りの建物です。楽器や鏡、美術品など、当時の国際交流を物語る非常に貴重な宝物が数多く保管されています。
問8	答え 4 墾田永年私財法	743年に制定された墾田永年私財法は、新しく開墾した土地を一定の条件のもとで永久に私有することを認めた制度です。それまでの「公地公民」の原則を大きく転換し、貴族や寺院による土地開発を促進しました。
問9	答え 3 木簡	木簡は主に松や杉などの板を薄く削って作られ、墨で文字が書かれました。これには税の品目や産地、送り主などが記されており、現在の配送伝票のような役割を果たしました。
問10	答え 1 太政官	太政官は、八省を統括し、国政の運営を担当する最高機関です。長官である太政大臣を中心に、左大臣、右大臣などが政治の実務を行いました。
問11	答え 4 聖武天皇	聖武天皇は熱心な仏教徒で、仏教による国の守り（鎮護国家）を理想としました。彼が中心となって栄えた文化は「天平文化」と呼ばれ、遣唐使を通じて唐や西域の文化を積極的に取り入れました。
問12	答え 2 郡司	「郡司」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。かつて地方の有力豪族であった人々が任命されました。都から派遣された「国司」をサポートし、税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。
問13	答え 3 シルクロード	シルクロードは「絹の道」とも呼ばれ、中国から中央アジアを経て地中海世界へとつながる壮大なルートです。この道を通じて、ガラス製品やペルシャ風の文様、五絃琵琶といった西アジアの楽器などが日本へ伝わりました。正倉院は、聖武天皇ゆかりの品々を納めた宝庫であり、国際色豊かな天平文化を今に伝える貴重なタイムカプセルとなっています。
問14	答え 1 平城京	710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。中国の唐の都である長安を手本にして設計され、整然とした道路が碁盤の目状に配置されていました。政治・経済の中心地として繁栄し、遣唐使などによって国際的な文化が開花しました。
問15	答え 2 鎮護国家	鎮護国家とは、仏教の加護によって国を安定させ、平和を守ろうとする思想です。聖武天皇は、この思想を国家運営の柱とし、東大寺に巨大な大仏を造立しました。また、あわせて全国に国分寺や国分尼寺を建立させるなど、仏教による統治を強めました。
問16	答え 4 国司	国司は、国府を拠点として、租庸調の徴収や公共事業、裁判など地方における行政実務を一手に担いました。これにより、中央政府の命令が地方のすみずみまで行き届く仕組みが完成しました。